

9月定例会を振り返って

会派の意見

市民クラブ

高知市政の大きな課題、小さな課題をしっかりとチェック!

近藤強議員は、はりまや町一宮線整備事業は高知駅周辺再開発事業に関連して計画されたもので、竣工から7年も放置しているのは県の怠慢との怒りの声が地元から上がっているとして、早期完成を強く求めた。

岡崎豊議員は、観光振興に多大な功績のあった故ベギー葉山さんの追悼行事について質問したほか、財政硬直化に警鐘を鳴らすとともに、健全化を要求。市民生活に影響が大きい下水道使用料の改定は、取り下げよう求めた。

深瀬裕彦議員は、文化財の保管・整理状況の改善、福祉避難所への認識を再確認の上、指定促進に向けた庁内の役割分担の必要性、土地保全条例施行規則改正による土地所有者の同意書の義務付けについての周知や境

界立会の義務付けの必要性について質問した。

竹内千賀子議員は、部落差別解消推進法施行に関して、市の基本認識をたずねるとともに、相談体制の整備や実態調査、インターネット上の差別表現等の事案に対する救済などを求めた。

市民協働部長からは、プロバイダ責任制限法は差別的情報の削除には有効ではないことから、救済制度の確立を国へ要望していききたいとの答弁があった。

新風クラブ

市長への警告決議案、西敷地公募型プロポーザル延期を求める陳情に反対! (ともに否決)

■個人質問の概要
和田勝美議員は、本年7月に新制度に移行了した農業委員会について、実働面での課題と対応について質問。

初代会長の 大野哲氏からは、新制度で農業委員が19人に半減したこと、委員一人に掛かる負担は増えることとなる。現場確認や地域での話し合いなど、地元に着した活動は32人の農地利用最適化推進委員に担っていただくこととなるが、当面は、事務局を含め三者が連携しながら、個別の事案に丁寧に対応していきたいとの答弁があった。

竹村邦夫議員は、長浜にある雪隠寺の数々の貴重な文化財を紹介しながら、南部地域の観光振興に結びつけられないかと提

案。

執行部からは、雪隠寺には運慶作と伝わる薬師如来像など、国の重要文化財に指定された仏像が複数ある。それらを本市の貴重な歴史資料として積極的にPRし、雪隠寺と桂浜公園や浦戸のさまざまな観光資源とを結びネットワーキングに取り組みたいとの答弁があった。

日本共産党

市長の説明責任を追及。マンシヨンありきの「西敷地」利活用事業の公募の凍結を求める。

一般質問、議案等への討論に全議員7人が登壇。◎新図書館西敷地に50年の定期借地権、マンシヨン建設も可能な公有財産規則の改正について、改正の場合には議会に「十分説明する」との答弁をほごにした市長の議会軽視の姿勢を追及。裁量権の逸脱であると公募の凍結を要求。

非公開のプロポーザル選定委員会の議事録不作成を指摘し、今後は作成へ。市長の議会軽視への警告決議に賛成討論。◎30年度からの下水道使用料値上げの改正条例は、国の汚水処理経費回収率の算定方法を変更した赤字根拠のすり替えを告発し、継続審査に。◎風営法に基づく県条例違反の愛宕中隣接のパチンコ店建設への対応を求めたが「県が判断する」と無責任な答弁。◎頓挫した「道の駅」地権者の所有地内避難路等廃止要求

に対して代替策の検討を求めた。◎住宅裏の崖崩れ対策工事の予算拡充と個人負担軽減を求め、前向きに検討との答弁。28年度決算認定議案は、西敷地利活用検討委員報酬の不適切な執行等により、反対討論した。

公明党

公明、4氏が質問

西森美和議員は、厳しい身分制度の象徴でもある高知城下の堀が、幕末の志士が新時代へ向かう熱と力を育んだ歴史を踏まえつつ、都市計画の「歴史と文化の風格あるまちづくり」に住民の参画を強く求めました。

山根堂宏議員は、本市が今議会でも連携中枢都市宣言を表明したことを受け、全国のモデルとなる事業として、どんな構想を持っているのか、また、県の支援事業などのさびわけについてたずねました。

伊藤弘幸議員は、AEDが未設置のふれあいセンター、コミュニティセンター9箇所への設置予定を問い、市長から、利用人数と周辺の設置状況等を踏まえ、今年度に2箇所、平成31年をめどに全センターへの設置を目指すとの答弁がありました。

寺内憲資議員は、下水道使用料値上げ議案は、市民生活を直撃するものであるにもかかわらず、市の努力姿勢が不十分であると、下水道接続率について市長と議論しました。

新こうち未来

新図書館西敷地を巡る問題について、岡崎市長に対し、警告決議案を提出

新図書館西敷地の利活用については、多くの市民が注目しているところである。

岡崎市長は、大きな変更点などについては事前に議会に説明すると答弁しておきながら、公有財産規則の変更という重大事項を議会に説明することなく行っている。この安直な市長の姿勢は、議会として看過することができないため、警告決議案を提出した。

当該議案は残念ながら否決となったが、市民の財産である新図書館西敷地の利活用は、広場機能を優先させるべきである。その他、個人質問には氏原嗣志議員、福島明議員、川村貞夫議員、浜口卓也議員が登壇し、本市発展のための質疑、提案を行った。

みどりの会

近森正久市議

弘化台市場の空き店舗対策要請新図書館西敷地の有効活用賛成下水道使用料アップは継続審査創業者支援補助金の広報を支援岡崎市長への警告決議案に反対よさこい祭の問題点に解決策を南部地区の産業振興策の人選を公立高校の内申書問題点を指摘